

令和4年度

第2回アンケート調査(いじめ・自殺)結果報告

令和5年2月

福島県立郡山支援学校
いじめ防止対策委員会

[アンケートの質問内容]

自分(じぶん)のことについて、当(あ)てはまるものすべてに○(まる)をつけてください。	
自殺防止に関わる調査	(1) 気(き)になることや悩(なや)んでいることについて
	1 学校(がっこう)や友達(ともだち)のことで、気(き)になることや悩(なや)んでいることがある。
	2 家族(かぞく)や家庭(かてい)のことで、気(き)になることや悩(なや)んでいることがある。
	3 その他(た)のことで、気(き)になることや悩(なや)んでいることがある。
	4 学校(がっこう)に行(い)きたくないと思(おも)う。
	5 いつも悲(かな)しい、苦(くる)しい気持(きもち)になる。
	6 気(き)になることや悩(なや)んでいることを相談(そうだん)できる人(ひと)がいない。
いじめ防止に関わる調査	(2) 友達(ともだち)関係(かんけい)について
	1 冷(ひ)やかし、からかい、悪口(わるくち)を言(い)われた。
	2 仲間(なかま)はずれにされたり無視(むし)されたりした。
	3 叩(たた)かれたり、ぶつかられたり、蹴(け)られたりした。
	4 お金(かね)や物(もの)をとられたり、おごらされたりした。
	5 物(もの)を隠(かく)されたり、乱暴(らんぼう)に扱(あつ)われたり、壊(こわ)されたりした。
	6 嫌(いや)なこと、危険(きけん)なこと、恥(はずかしい)ことをさせられた。
	7 メールやSNS(エスエヌエス)に、嫌(いや)なことを書(か)かれたり画像(がぞう)をのせられたりした。
	8 いじめられている人(ひと)を見(み)たり聞(き)いたりしたことがある。
9 そのほか、友人(ゆうじん)関係(かんけい)のことで困(こま)っている。	

※集計は児童生徒と保護者を合算した形で行っています。

小学部	(1)-1	(1)-2	(1)-3	(1)-4	(1)-5	(1)-6	(2)-1	(2)-2	(2)-3	(2)-4	(2)-5	(2)-6	(2)-7	(2)-8	(2)-9			回答者数	配付数	回収率
1年	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			19	20	95%
2年	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			20	20	100%
3年	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0			26	28	93%
4年	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			33	34	97%
5年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			11	12	92%
6年	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			17	18	94%
計	1	2	1	5	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0			126	132	95%
回答の概要	<p>【自殺防止に関する調査について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の行動が気になることや、疲れが溜まってきたとき、家族のことで悩みがあるようである。 <p>【いじめ防止に関する調査について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめとして認知されるものはなかった。 																			

中学部	(1)-1	(1)-2	(1)-3	(1)-4	(1)-5	(1)-6	(2)-1	(2)-2	(2)-3	(2)-4	(2)-5	(2)-6	(2)-7	(2)-8	(2)-9			回答者数	配付数	回収率
1年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			17	18	94%
2年	1	2	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			26	32	81%
3年	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			39	46	85%
計	1	2	3	1	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0			82	96	85%
回答の概要	<p>【自殺防止に関する調査について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校外での出来事、家族との関係、コミュニケーションに関する事などが主な要因であった。 <p>【いじめ防止に関する調査について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめとして認知されるものはなかった。 																			

高等部	(1)-1	(1)-2	(1)-3	(1)-4	(1)-5	(1)-6	(2)-1	(2)-2	(2)-3	(2)-4	(2)-5	(2)-6	(2)-7	(2)-8	(2)-9			回答者数	配付数	回収率
1年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			40	44	91%
2年	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			27	28	96%
3年	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			35	36	97%
計	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			102	108	94%
回答の概要	<p>【自殺防止に関する調査について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自身のこと、友達との関係、、寄宿舍での人間関係などが主な要因であった。 <p>【いじめ防止に関する調査について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめとして認知されるものはなかった。 																			

《まとめ》

いじめとして認知されるものは無かったが、校内だけでなく、家庭や寄宿舍で生活する中で、悩みを抱えている児童生徒がいることが把握できた。今後は記述があった内容について具体的な聞き取りや対応を継続して行っていく。

このようなアンケートを実施することで、教師が気付きにくい学校外の事柄についても把握することができるので、日頃から児童生徒の見守りや信頼関係の構築に努めるとともに、保護者や地域行政とも連携しながら児童生徒が表す変化や危険信号を見逃さず、面談やアンケート調査を通して、生徒が悩みを訴えやすい環境を整え積極的にいじめ、自殺防止に取り組んでいかなければならない。

長期欠席や入院などの事情により、アンケートを回収できていない児童生徒、保護者もいるが、今後も引き続き声掛けを行っていき、何かしら悩みや問題がある場合には、対応策を検討していきたい。

今後も児童生徒の様々な悩みと向き合っていくために、担任だけでなく各学部、各学年、教務部、進路指導部とも連携を図り、学校全体として該当する児童生徒のバックアップに努める。